

かごしま市議会だより

2023 No.362

令和5年8月1日
第2回定例会号

第1回臨時会

電力・ガス・食料品等価格高騰対策（低所得世帯への給付金）に係る補正予算を可決

第2回定例会

電力・ガス・食料品等価格高騰対策および保育所等の待機児童解消対策に要する経費を含む一般会計補正予算等を可決



親子でキャンプに挑戦（少年自然の家主催事業）

目次

個人質疑から	2～3面
委員会から	3～4面
クローズアップ・特集	4面
議案等に対する各党派等の表決態度	5面
可決された意見書の要旨	5面
市議会の構成	6面

市議会だよりに関する意見募集

○市議会だよりに関する市民の皆さまのご意見を募集します。

○パソコン、スマートフォン等の場合は、市議会ホームページか右記の送信フォーム（二次元コード）、メール（seimuchousa@city.kagoshima.lg.jp）でお寄せください。



送信フォーム

○郵送の方は、〒892-8677 山下町11-1 政務調査課宛にお寄せください。

編集・発行／鹿児島市議会

☎099-224-1111(市役所代表)

☎099-216-1454(政務調査課直通)

<鹿児島市議会ホームページアドレス>

https://www.city.kagoshima.lg.jp/gikai/index.html

【議決された主な議案の要旨】

〔第1回臨時会〕

▼専決処分の承認を求める件（令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第1号））

・子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

▼令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第2号）

・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業

▼監査委員の選任について同意を求める件（2件）

・米山たいすけ氏 ・大園たつや氏

〔第2回定例会〕

▼令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第3号）

◎主な内容

・障害福祉サービス事業等物価高騰対策支援事業

・保育所等給食費支援補助金

・民間保育士等処遇改善補助金

・物価高騰に係る学校給食費支援補助金

▼鹿児島市乗合自動車乗車料条例一部改正の件

・自動車運送事業の経営の健全化及び利用者の利便性の向上のため、乗合自動車の乗車料金の額を改定するとともに、関係条例の整理をするもの

▼監査委員の選任について同意を求める件

・宮之原 賢氏

▼教育委員会委員の任命について同意を求める件（2件）

・岡本尚也氏 ・津曲貞利氏

▼公平委員会委員の選任について同意を求める件

・福元紳一氏

▼固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件

・高橋貴子氏

▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件

・伊地知 学氏


個人質疑から

第1回臨時会では1人、第2回定例会では11人の議員が個人質疑を行いました。
その中から一部を紹介します。

質疑者は次のとおりです。

たてやま清隆 議員(日本共産党) 中元かつあき 議員(自民党市議団) 西 洋 介 議員(自民党市議団)
のぐち英一郎 議員(にじとみどり) まつお晴代 議員(社 民 立 憲) 大園たつや 議員(日本共産党)
合原ちひろ 議員(市民連合) 藺田 裕 之 議員(自民党市議団) 園 山 え り 議員(日本共産党)
向江かほり 議員(社 民 立 憲) 森山きよみ 議員(社 民 立 憲) (掲載記事は質疑順ではありません。)

インターネット放映
(アクセス方法)
市議会トップページ
→ インターネット議会中継録画



第1回臨時会



健康・福祉

電力・ガス・食品等価格高騰 重点支援給付金支給事業

問 電力・ガス・食品等価格高騰重点支援給付金支給事業の目的、内容、令和5年度の給付基準と対象世帯数は。また、今後の実施スケジュールと、さらなる支援策を検討すべきと考えるが見解は。

答 同事業は、物価高騰による負担感が大きい低所得世帯の負担軽減を図るため、5年度分の住民税均等割が非課税である世帯や5年1月以降の家計急変世帯に、1世帯当たり3万円を給付するもので、住民税非課税世帯約8万9千世帯、家計急変世帯約1万1千世帯を見込んでいます。

実施スケジュールは、5年7月中旬に住民税非課税世帯への確認書送付、家計急変世帯の申請受け付けを開始し、同月下旬からの給付開始を予定している。

物価高騰等の対策については、市民・事業者の負担軽減を図るため、これまで時機を逸することがないよう切れ目なく対策を講じてきており、今後も社会経済情勢の変化や国、県の動向等を踏まえ、適時適切に対応していきたいと考えています。

第2回定例会



危機管理

本市上空における米軍機の夜間低空飛行

問 松元や郡山地域で繰り返し

れている米軍機の夜間低空飛行の実態を把握するための本市の取り組みは。また、本市として情報収集員の配置、騒音測定器・監視カメラ等を設置できないか、本市ができないのであれば防衛省に要請するべきと考えるが見解は。

答 本市の取り組みとしては、市ホームページを通じて、市民に情報提供を呼び掛けるとともに、低空飛行等の情報が寄せられた場合は速やかに県に連絡している。米軍機による低空飛行については、人口密集地の飛行回避や住民への影響が大きい深夜等の時間帯を避けるなど地域住民の不安を払拭するよう十分な配慮を行うことが必要であり、県市長会を通じて要望を行っている。

また、全国知事会および鹿児島県議会が国の責任で騒音測定器を増やすなど必要な実態調査を行うことなどを要請していることから、引き続き、国の動向および本市上空における低空飛行等の状況を注視していきたいと考えています。



市民生活

県国民健康保険 財政安定化基金

問 県が国民健康保険財政安定化基金を約5億円取り崩したことから本市の令和5年度国民健康保険事業費納付金への影響額、同基金の4年度末残高と市町村が活用可能な額は。

答 県の同基金取り崩し5億円のうち、本市分は推計1億7千万円で、その結果、本市の同納付金は、仮算定と比べ150万円の増

に抑制されている。県によると同基金の4年度末残高は96億2千万円で、市町村の同納付金の年度間調整に活用可能な額は約62億9千万円とのことである。

県の同基金の活用は、本市の同納付金にも影響が生じる可能性があることから、引き続き関係会議等において他自治体と連携し、適切な運用について県と協議していきたいと考えています。



環境

無縁納骨堂に一時保管中の遺骨

問 身寄りのない方等の遺骨と市営墓地環境整備事業により撤去した無縁墳墓の遺骨について、令和4年度末時点の保管柱数と、保管する際の取り扱い。また、一定期間を経過した遺骨は合葬するなど、6年1月に供用開始される市営合葬墓への埋葬を含め遺骨の保管に関するルールを整備する考えは。



川上墓園無縁納骨堂

答 4年度末現在、身寄りのない方等の遺骨を465柱、同事業により撤去した無縁墳墓の遺骨を2287柱保管しており、保管の依頼元等が遺体の火葬や遺骨の再火葬を行った後に、引き取り先が見つかるまで預かっている。遺骨

の保管期限や引き取り先が見つからない場合の取り扱い等は、親族に引き取られる可能性等を考慮し特に定めていないが、今後他都市の状況などを調査していきたいと考えています。



公営企業

市電普通運賃クレジットカードタッチ決済導入事業

問 令和4年11月から試行されている市電普通運賃クレジットカードタッチ決済の利用者の割合、タッチ決済可能なクレジットカード等の普及状況についての認識、タッチ決済の方法、タッチ決済を降車時の1回にできない理由は。また、市バスへは市電での課題を整理した上で導入していくべきと考えるが見解は。



運行中の市電

答 全利用者に占めるクレジットカードタッチ決済の利用者の割合は、5年5月では約5%となっている。タッチ決済可能なクレジットカード等は国内での発行枚数が5年3月末時点で1億枚を超えており、今後もさらに普及していく見通しである。利用に当たっては、ラピカと同じく乗車時には乗車側リーダーに、降車時には降車側リーダーにタッチして決済する



子育て

児童相談所の新たな候補地の検討

問 児童相談所の候補地として、県農業試験場跡地を新たに追加することになった理由は。また、早期設置に向けた市長の本気度は。

答 現候補地である鴨池公園駐車場は、新型コロナウイルス感染症による本市財政への影響等により、施設整備に係る検討に関して適切な時期を見定めざるを得ない状況となる中、市議会から早期設置に関する指摘や要望が数多くあった。本市としては令和5年度に付加機能を決定したいと考えているが、同駐車場は整備に時間を要するなど課題もあり、早期の設置を図る観点から、新たな候補地の検討が必要であるとの考えに至った。

同跡地については、敷地条件をおおむね満たし、関連機能を有する施設とも近接している立地であること、公共交通機関からの便の良さやプライバシーを比較的確保しやすいことなどから、候補地に追加したところである。今後、同跡地における施設概要の検討や同駐車場に整備する場合との比較検討を速やかに進めるなど、児童相談所の早期設置に向けて取り組んでいきたいと考えている。



観光・スポーツ

多機能複合型スタジアム整備

問

多機能複合型スタジアムの新たな候補地として北ふ頭を選定した理由と時期は。また、港湾計画における北ふ頭の土地利用規制に関する課題と対策、現存する旅客ターミナルと貨物上屋、港湾機能における課題と対策は。

答

ドルフィンポット跡地および住吉町15番街区の2候補地を取り巻く状況等を踏まえ、他候補地検討の必要性を考える中で、北ふ頭は一定の敷地面積があり、平成30年の提言書の趣旨や県のブランドデザインの開発コンセプトにも合致するものと考え着目したところである。県の検討委員会でゾーニングの検討作業が進められる中で、整備可能性について、時機を逸することなく説明することが必要と考え、2候補地の除外と同じタイミングでの表明となった。

北ふ頭は港湾計画上、水族館用地以外は土地利用計画としてふ頭用地および緑地に定められていることなどから、港湾計画の見直し等が前提になると考えている。旅客ターミナル等は今後、課題と対策について整理する必要がある。港湾機能においては物流や人流の交錯による安全性の確保などの課題があるため、整備検討を進める際には、県や港湾関係者等と十分に協議を行っていききたいと考えている。

城山展望台付近の公園・観光施設等の整備

問

城山展望台付近の駐車場や売店、トイレ等が整備されたのはいつか。また、駐車場から展望台への案内板の見えづらさ、トイレやベンチの破損、眺望を遮る樹木の状況などについての認識は。

鹿児島市観光の玄関・入り口にふさわしい施設として、面的なりニユーアルを行うべきと考えるが見解は。

答

同展望台の売店などの建物は、平成4年3月に整備したもので、現状については把握しており、トイレやベンチ等の修繕や案内板の設置などを行う予定としているほか、樹木の剪定については、今後、文化庁などの関係機関と協議を行い、検討していききたいと考えている。

同展望台付近は、国の「天然記念物城山」および「史跡鹿児島城跡」に指定されていることから、現状変更に当たっては、同庁の許可を得る必要があるが、観光資源の一つであることも踏まえ、今後、関係機関等と連携し、検討する必要があると考えている。



教育

不登校対策

問

令和5年3月に文部科学省が公表した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCCOLOプラン）」に対する本市の取り組みと評価および課題は。また、今後の同プランに基づく取り組みについての考え方は。

答

同プランに対応する本市の取り組みとしては、現在のフレンドシップ（適応指導教室）の充実や民間のフリースクール等との環境整備に関する情報交換会の実施、児童生徒に配布したタブレット端末等を利用した「ニコニコチャット

ク」による心身の健康観察、学校の日常的な取り組み等を学校のブログ等で紹介するなど見える化に取り組んでいる。これらの取り組みの成果等について検証していきたいと考えているが、同プランで示された見える化の具体化、本児童生徒の多様化するニーズへの対応、保護者への支援等が課題であると捉えている。

市立高等学校の活性化

問

市立高等学校活性化委員会における市立3高校学科再編の考えと課題は。鹿児島商業高校と鹿児島女子高校の合併や校地の移転も検討事項か。また、活性化に向けての目標や期限などのロードマップと教育長の決意は。

答

学科再編については、3年間を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にすることや、時代に即応した魅力ある学科の在り方等について協議され、実施可能なものから速やかに具体化するなどの検討が進められている。また、新学科設置に伴う施設整備や教員の配置等が課題とされている。

両校の合併や校地の移転については、女子高校の在り方等も含め、さまざまな観点からの意見交換がなされ、商業高校における男女共学化について検討するとされたところである。

活性化については、同委員会の協議を踏まえながら市立3高校のそれぞれの特色を生かした学校づくりを進め、学校がさらに充実・活性化することを目指し、生徒・保護者・市民にとって魅力ある学校となるよう、積極的に取り組ん

でいききたいと考えている。



鹿児島商業高校



まちづくり

市営住宅駐車場の値上げ問題

問

市営住宅駐車場使用料値上げの詳細な試算根拠を示さない進め方への市長の認識は。また、一定の合意形成がなされ、客観的評価が可能になるまでの値上げの延期と、激変緩和期間についての見解は。さらに、同使用料値上げの算出根拠と詳細な資料を全世帯に配布すべきでは。

答

同使用料については、令和5年6月8日の全ての管理組合を対象とした説明会におけるさまざまな意見等を踏まえ、さらに丁寧な説明等に努める必要があると認識している。

国が示す管理標準条例の規定では、駐車場使用料は近傍同種の駐車場使用料を限度とすることとなっているが、高額となるため、県営住宅を参考としたところであり、同住宅では20年近く同等の使用料を徴収していることから適切な金額と考えている。経過措置は、1年間に限り50%とすることを同説明会で示したが、今後さらに検討

したいと考えている。また、算出根拠等は、同説明会の際に口頭で説明したが、改めて全世帯に文書を配布することとしている。

宅地造成及び特定盛土等規制法の施行と本市の対応

問

熱海市での大規模な土石流災害の発生を受けて改正された宅地造成及び特定盛土等規制法の概要と取り組みの方向性は。

また、本市の盛り土等に対するこれまでの対応と改善の状況、令和5年度予算の内容と今後のスケジュールは。

答

同規制法の概要は、「スキマのない規制」「盛り土等の安全性の確保」「責任の所在の明確化」「実効性のある罰則の措置」であり、盛り土等により人家等に被害を及ぼしうるエリアをできる限り広く規制区域として指定し、全国一律の基準で包括的に規制するものである。

3年に大規模盛り土造成地100カ所と土捨て場33カ所の点検を行い、不具合等が確認された箇所は全て改善された。5年度は同規制法に基づく規制区域を指定するための基礎調査等を実施することとしており、年度内に規制区域案を作成、6年度に条例改正などの手続きを進め、7年度初めに規制区域を指定する予定としている。

委員会から

乗合自動車乗車料条例一部改正

問

市営バスの運賃について、現行の特殊区間制、対キロ区間制の併用を廃止して、上限運賃額を230円とする均一制への改定により、多くの利用者が負担増となる



運行中の市バス

ことへの見解は。答 今回の改定により負担増となる220円以下区間の利用者は、令和3年度の利用実績から、全体の約94%に当たる延べ約446万人と推計され、多くの利用者の負担が増えることは十分に認識しているものの、交通事業全体の経営健全化に必要不可欠なものであると考えていることから、利用者も含め市民の理解が得られるよう、利便性向上の内容と併せて、丁寧に説明していききたい。

4年3月に見直しを行った市交通事業経営計画では、今回の運賃改定等によってバス事業の運送収益で13%の増収を図ること等により、交通事業全体の経営の健全化が見込まれるとしているが、今回、多くの利用者に大幅な値上げをお願いすることから、今後さらなる物価高騰や人件費の上昇があった場合においても、13年度までの同計画期間中における運賃改定は行わないことが重要であると考えているが、見解は。

答 今般の燃料等価格高騰の影響は、国・市から一定の支援があることから、今回の運賃改定には反映していないところである。また、同計画期間中における再度の運賃改定は、現時点では考えていないところであり、今後とも、増収対策や経費の削減に取り組んでいききたい。

物価高騰に係る学校給食費 支援補助金

問 物価高騰の影響を受ける保護者の負担軽減を図るため、学校給食を実施する市立小中学校に対し、学校給食費の一部を支援することになっているが、対象となる学校数には。

答 市立小中学校117校のうち、学校給食を実施していない鹿児島玉龍中学校を除く116校を対象としている。

問 物価高騰の影響は、学校給食を提供している学校と同様、同校の保護者にも及んでいると考えられるが、今回の補助事業の目的を踏まえると、同じ市立中学校である同校を支援の対象に加える考えはなかったのか。

また、同校だけが除外されたにもかかわらず補助を行わないことについては、公平性の観点からも疑問を感じるが見解は。

答 同校の保護者も物価高騰の影響を受けていることは十分認識しているものの、同校については、学校給食を実施していない国立や私立の中学校と同様の取り扱いとしたところであり、他都市においても、市立の中高一貫校は対象としていないことを確認したことから、対象から除いたところである。

また、今回の補助事業については、昨年度と同様のスキームとしたものの、結果として国の交付金の活用やそれを含む制度の事業化については、不十分な部分があったことは認めざるを得ないと考えているが、事業の実施により少しでも給食費の支援をしていきたいと考えている。

指摘のことについて、今後、事業を進めていきたい。

止め、今後、事業を進めていきたい。



クローズアップ!!! Close Up

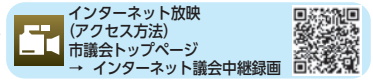
議員発議により「鹿児島市議会議員の請負状況の公表に関する条例」を制定しました。

鹿児島市議会議員が鹿児島市に対し請負をする者等である場合における請負状況を公表すること等により、請負状況の透明性を確保し、もって議会の運営の公正及び事務の適正を図るため、令和5年第2回定例会において、議員発議により条例を制定しました。

市議会事務局政務調査課 ☎ 099-216-1454(直通)

議会中継をご覧ください

○本会議の様様をインターネットで配信しています。リアルタイムで視聴できる「生中継(本会議中のみ配信)」と、いつでも視聴できる「録画放映」とがあり、パソコンやスマートフォン、タブレット端末で視聴できますので、ぜひ、ご覧ください。⇒



○録画放映は、生中継終了後4日程度(土・日曜日、休日を除く)でご覧いただけます。

○本会議の日程については市議会ホームページでご確認ください。

市議会事務局政務調査課 ☎ 099-216-1454(直通)

特集

～8・6豪雨災害に対する市議会の取り組み～

平成5年8月6日、鹿児島市は記録的な集中豪雨に見舞われ、がけ崩れなどによる死者・行方不明者48名を含む約100名の人的被害をはじめ、12,000棟を超える家屋被害、道路の寸断や水道の断水等で、市民生活は大きな打撃を受けました。

30年が経過したいま、あらためて市議会における当時の取り組みを振り返るとともに、令和5年の取り組みについて紹介します。

平成5年

- 市議会は8・6豪雨に伴う災害が甚大であったことを踏まえ、直ちに翌7日、正副議長を正副会長として、総務文教・厚生保健・経済企業・建設消防の4常任委員会の委員長および議会運営委員会の正副委員長・各会派代表者で構成する鹿児島市議会災害復旧対策協議会を設置し、被害状況の把握や当面の復旧対策について協議を行い、当局に意見反映を行いました。また、議会運営委員会でも時機を失することのないよう、災害復旧対策の取組等について協議を行いました。
- 4常任委員会および都市整備対策特別委員会では、所管する分野ごとに被害状況の把握を行い、教育施設の2学期始業時までの応急的な復旧、災害ごみ等の早期搬出、避難所の対応を含めた避難対策、防疫の迅速な対応、融資制度の改善、甲突川・稻荷川・新川の3河川の河川改修問題、宅地内土砂の排除、二次災害防止対策など各面から論議を交わす中で各種施策の対応について当局に要請を行うとともに、各委員会から、市議会として国に要請すべき事項について議長に申し入れを行いました。



竜ヶ水災害現場視察



武之橋災害現場視察

- 甲突川の河川改修は、8・6豪雨に伴う災害を踏まえ、県から市長に対して河川激甚災害対策特別緊急事業を導入するに当たっての意見聴取が求められたことから、市議会としては同問題を論議するため、議会協議会や都市整備対策特別委員会・総務文教委員会・建設消防委員会の3委員会による連合審査会を開催しました。連合審査会における論議等を踏まえ、都市整備対策特別委員会を開催し、同事業の採択の是非について、当局に意見反映を行いました。

- 正副議長は、市議会を代表して内閣総理大臣、国土庁長官、建設大臣、参議院災害対策特別委員会等の災害視察等に同行し、国等の早急な対応方について要請を行いました。

- また、市議会としては、4常任委員会および都市整備対策特別委員会からの申し入れを受け、災害復旧対策について4回にわたる中央陳情等を行うとともに、鹿児島市・鹿児島郡区選出県議会議員に対しても、県議会での強力な取組方について要請しました。

これらの陳情等の結果、災害査定が早期に実施されるとともに、宅地内土砂の排除については都市災害復旧事業、道路上の堆積土砂排除については公共土木施設災害復旧事業として採択され、また、特別交付税の増額につながりました。

9月議会において、再びこのような災害を受けることのないまちづくりに努力することを決意するとともに、関係機関等による豪雨災害支援に対する感謝の意を表すため、「平成5年8月6日の豪雨災害支援に対する感謝決議」を全会一致で可決しました。

令和5年

- 8・6豪雨災害から30年が経過したいま、記憶を風化させず継承するため、令和5年6月3日に開催された「防災シンポジウム」で当時の市議会の取り組みを紹介しました。また、7月31日から8月29日まで開催の「8・6豪雨災害パネル展」や、8月6日に開催される「防災お天気フェア」でもこれらを紹介し、あわせて市議会ホームページへ掲載します。



防災シンポジウム パネル展

議案等に対する各党派等の表決態度

○賛成 ×反対 一欠席

	件名	自	社	公	市	日	に	無	結果
		民	民	明	民	本	じ	所	
		党	立	明	連	共	と	属	
		市	憲	党	合	産	み	属	
		議	法			党	ど		
		団					り		
議案	【第1回臨時会（5月）】								
	▼専決処分の承認を求める件〔鹿児島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例〕	○	○	○	○	×	×	—	承認
	▼専決処分の承認を求める件〔鹿児島市税条例の一部を改正する条例〕								
	▼専決処分の承認を求める件〔職員の給与に関する条例及び鹿児島市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例〕	○	○	○	○	○	○	—	承認
	▼専決処分の承認を求める件〔令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第1号）〕								
	▼令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	▼監査委員の選任について同意を求める件〔2件〕	○	○	○	○	○	○	—	同意
	【第2回定例会（6月）】								
	▼鹿児島市乗合自動車乗車料条例一部改正の件	○	○	○	○	×	○	—	
	▼鹿児島市税条例一部改正の件								
	▼令和5年度鹿児島市交通事業特別会計補正予算（第1号）								
	▼子ども家庭庁設置法の施行等に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件								
	▼鹿児島市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例一部改正の件								
	▼鹿児島市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例一部改正の件								
	▼土地処分の件〔三和町〕	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
▼自動車購入の件〔水槽付消防ポンプ自動車など 2件〕									
▼鹿児島市営住宅条例一部改正の件									
▼令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第3号）									
▼令和5年度鹿児島市船舶事業特別会計補正予算（第1号）									
▼鹿児島市議会議員の請負状況の公表に関する条例制定の件									
▼専決処分の承認を求める件〔令和5年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）〕	○	○	○	○	○	○	—	承認	
▼監査委員の選任について同意を求める件									
▼教育委員会委員の任命について同意を求める件〔2件〕									
▼公平委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	—	同意	
▼固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件									
▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件									
意見書案	【第2回定例会（6月）】								
▼教育予算の拡充を求める意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	

党派名等	議員数	所属議員名	党派名等	議員数	所属議員名		
自民党市議団	20人	西洋介 山下 要 中元かつあき 徳利こうじ	公明党	5人	こじま洋子 しらが郁代 松尾まこと 長浜昌三 崎元ひろのり		
		霜出佳寿 米山たいすけ 佐藤高広 藺田裕之			市 民 連 合	4人	合原ちひろ 伊地知紘徳 三反園輝男 片平孝市
		瀬戸山つよし わきた高徳 奥山よしじろう 川越桂路			日 本 共 産 党	3人	園 山 え り たてやま清隆 大園たつや
		山口 健 古江尚子 飯屋秀一 柿元一雄			にじとみどり	2人	のぐち英一郎 大園盛仁
社 民 立 憲	7人	志摩れい子 中島蔵人 平山 哲 入船攻一	無 所 属	1人	小森こうぶん		
		向江かほり まつお晴代 平山タカヒサ 中原 力	※小森のぶたか議員（公明党）は令和5年6月9日をもって議員を退職されました。				
		大森 忍 森山きよみ 秋広正健					

政務活動費収支報告書等のインターネット公開

過去5年度分の政務活動費収支報告書と収支内訳書、領収書等の写しを、インターネットで公開しています。

政務活動費の交付を受けた党派ごとに、文書をご覧ください。

詳しくは市議会ホームページをご覧ください➡



政務活動費とは

地方自治法及び鹿児島市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、鹿児島市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

【交付対象】

鹿児島市議会における党派（所属議員が1人の場合を含みます。）

【交付額および交付の方法】

次の合算額を、4月から9月までおよび10月から翌年3月までの各区分による期間ごとに交付します。

- ・各月の1日（基準日）における当該党派の所属議員数に月額150,000円を乗じて得た額
- ・基準日において現に党派が雇用している事務補助員に係る当該月分の雇用による経費として月額270,000円以内で市長が別に定める基準により算定した額

政務活動費収支報告書等を閲覧できます

市議会図書室で、過去5年度分の収支報告書等の写しを閲覧できます。

- ・閲覧場所：市議会図書室（西別館4階）
- ・閲覧時間：午前8時30分～午後5時15分（閉庁日を除きます。）

市議会事務局総務課
☎ 099-216-1450(直通)

可決された意見書の要旨

第2回定例会では、1件の意見書案を原案どおり可決しました。要旨は次のとおりです。

●教育予算の拡充を求める意見書

国においては、令和6年度の予算編成において、子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数の改善を推進するとともに、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を堅持することを強く要請するため、国会及び関係行政庁に対し意見書を提出します。

提出先：衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、内閣官房長官、
財務大臣、文部科学大臣、
総務大臣

※意見書とは・・・鹿児島市の公益に関することについて、市議会としての意思を意見としてまとめた文書のことです。国会や国などの関係行政庁に提出することができます。

市議会の構成

鹿児島市議会は、令和5年5月23日に開かれた第1回臨時会において、常任委員会等の委員の選任を行いました。

常任委員会（総務環境・防災福祉こども・市民文教・産業観光企業・建設消防）、議会運営委員会、特別委員会（桜島爆発対策・都市整備対策・鹿児島港本港区のまちづくりに関する調査）の委員をお知らせします。なお、構成は6月28日時点のものです。

第93代議長



川越桂路
(自民党市議団)

第94代副議長



三反園輝男
(市民連合)

凡例



氏名
所属会派等

総務環境委員会 (定数9人 現員9人) ◎委員長 ○副委員長

【所管事項】 総務局、企画財政局、環境局、会計管理室、選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項

◎合原ちひろ (市民連合)	○平山タカヒサ (社民立憲)	向江かほり (社民立憲)	山下 要 (自民党市議団)	こじま洋子 (公明党)	たてやま清隆 (日本共産党)	仮屋秀一 (自民党市議団)	平山 哲 (自民党市議団)	入船攻一 (自民党市議団)

防災福祉こども委員会 (定数9人 現員8人) ◎委員長 ○副委員長

【所管事項】 危機管理局、健康福祉局及びこども未来局の所管に属する事項

◎しらが郁代 (公明党)	○菌田裕之 (自民党市議団)	西 洋介 (自民党市議団)	霜出佳寿 (自民党市議団)	松尾まこと (公明党)	大森 忍 (社民立憲)	古江尚子 (自民党市議団)	片平孝市 (市民連合)

市民文教委員会 (定数9人 現員7人) ◎委員長 ○副委員長

【所管事項】 市民局及び教育委員会の所管に属する事項

◎中原 力 (社民立憲)	○柿元一雄 (自民党市議団)	まつお晴代 (社民立憲)	大園たつや (日本共産党)	川越桂路 (自民党市議団)	志摩れい子 (自民党市議団)	中島蔵人 (自民党市議団)

産業観光企業委員会 (定数9人 現員9人) ◎委員長 ○副委員長

【所管事項】 産業局、観光交流局、農業委員会、市立病院、交通局、水道局及び船舶局の所管に属する事項

◎のぐち英一郎 (にじとみどり)	○徳利こうじ (自民党市議団)	園山えり (日本共産党)	瀬戸山つよし (自民党市議団)	わきた高徳 (自民党市議団)	長浜昌三 (公明党)	伊地知紘徳 (市民連合)	山口 健 (自民党市議団)	森山きよみ (社民立憲)

建設消防委員会 (定数9人 現員9人) ◎委員長 ○副委員長

【所管事項】 建設局及び消防局の所管に属する事項

◎中元かつあき (自民党市議団)	○崎元ひろのり (公明党)	米山たいすけ (自民党市議団)	佐藤高広 (自民党市議団)	奥山よしじろう (自民党市議団)	大園盛仁 (にじとみどり)	三反園輝男 (市民連合)	小森こうぶん (無所属)	秋広正健 (社民立憲)

議会運営委員会

(定数11人 現員11人)
【調査・審査事項】
次に掲げる事項に関する調査を行い、議案、請願等を審査する。
1 議会の運営に関する事項
2 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
3 議長の諮問に関する事項
◎委員長 佐藤高広
○副委員長 伊地知紘徳
委員
園山えり 平山タカヒサ
中元かつあき 米山たいすけ
中原 力 長浜昌三
古江尚子 志摩れい子
入船攻一

桜島爆発対策特別委員会

(定数11人 現員11人)
【設置目的】
桜島火山の継続的な爆発に伴う降灰対策等について調査検討を行い、国・県の財政措置を含めた各種施策のより一層の充実強化を期すため、関係当局への意見反映を図る。
◎委員長 霜出佳寿
○副委員長 のぐち英一郎
委員
向江かほり 合原ちひろ
山下 要 園山えり
長浜昌三 仮屋秀一
志摩れい子 森山きよみ
平山 哲

都市整備対策特別委員会

(定数11人 現員11人)
【設置目的】
本市が当面している都市整備問題（河川改修、港湾整備、バイパス建設、鹿児島中央駅周辺の課題）について調査検討を行い、関係当局への意見反映を図る。
◎委員長 たてやま清隆
○副委員長 菌田裕之
委員
こじま洋子 瀬戸山つよし
松尾まこと 奥山よしじろう
大森 忍 柿元一雄
中島蔵人 片平孝市
秋広正健

鹿児島港本港区のまちづくりに関する調査特別委員会

(定数11人 現員11人)
【設置目的】
鹿児島港本港区のまちづくりに関する諸問題（サッカー等スタジアムの整備、ドルフィンポート跡地等の開発、路面電車観光路線の新設）について調査検討を行い、関係当局への意見反映を図る。
◎委員長 古江尚子
○副委員長 平山タカヒサ
委員
中元かつあき 米山たいすけ
佐藤高広 大園たつや
伊地知紘徳 崎元ひろのり
大森 忍 のぐち英一郎
入船攻一